

## 「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書

所属：教育文化学部 国際言語文化課程 学年2

氏名：佐藤奈子

研修先大学・機関名（国）：黒竜江大学（中国）

在籍身分：留学生

渡航年月日：2011年9月16日

帰国年月日：2011年9月30日

### ○研修先での学習内容

- ・聞き取る力をつける授業…CD、教科書を用いる  
→主に穴埋め問題、文章の聞き取り
- ・映像を見ながら聞き取る授業…ビデオ、パソコンを用いる  
→中国文化についての内容を視覚的に学ぶ
- ・会話の授業…教科書を用いる  
→教科書の内容を要約、暗記
- ・発音練習の授業…教科書を用いる  
→声調に気をつけながら発音
- ・精読の授業…教科書を用いる  
→主に文法、作文

全体的に先生の間いかけ・それに対する返答をする場面が多かった。

### ○研修機関の生活面について

過ごした寮はホテルのような作りだったため、とても心地よかった。食事は学校の留学生食堂を利用してとった。米・小麦食があるうえに箸を使用する文化なのでそこまで抵抗なく食べられた。また、早寝早起きの生活をしたため、時間を有効に使うことができたため、予習・復習の時間を日本にいる時よりもとれた。

### ○研修機関全般にわたる感想

この2週間は驚きと発見の連続だった。日本にいただけではわからないことがこんなにたくさんあるということは出発前には予想できなかった。文化・生活感は国によって大きな違いがあるし、「普通」の感覚が全く異なるということを知れて、自分の気持ちが深まった。また、現地で中国語を学んだのは本当に貴重で実力を身を持って知ることか出来る体験だった。周囲が中国語で話していたり、日本語が通じなかったりという環境だと、何も話せなくなってしまった。しかし、必死に自分の言いたいことを伝えようという気持ちはあったため、その気持ちが語学力の向上につながるのだと感じた。今回の体験を忘れず、今後の学習にしっかり生かしていきたい。

### ○今後の勉学計画

- ・最低限週3回は中国語に触れる
- ・実際に聞いてきた発音・感覚を忘れないように発音の練習をする